



## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

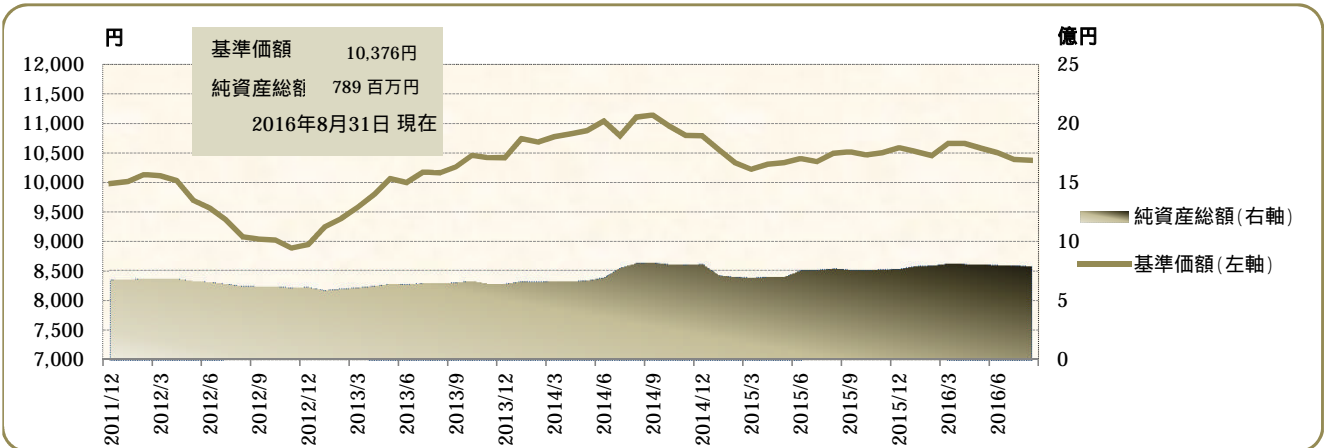
ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託(追加型)

作成基準日

2016年8月31日

## 基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

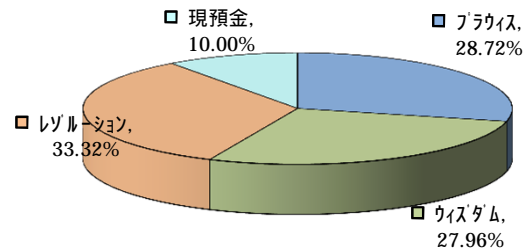
| 2016 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 騰落率  | -0.65% | -0.67% | 2.02%  | -0.04% | -0.75% | -0.70% | -1.11% | -0.13% |       |        |        |        | -2.05% |
| 2015 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| 騰落率  | -2.19% | -2.07% | -1.13% | 0.85%  | 0.28%  | 0.68%  | -0.50% | 1.31%  | 0.29% | -0.49% | 0.32%  | 0.87%  | -1.85% |
| 2014 | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月    | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| 騰落率  | 3.05%  | -0.55% | 0.89%  | 0.41%  | 0.55%  | 1.48%  | -2.27% | 2.94%  | 0.34% | -1.73% | -1.44% | -0.02% | 3.54%  |



## 運用実績

|         |             |              |
|---------|-------------|--------------|
| 設定日:    | 2011年12月19日 |              |
| 決算日:    | 毎年11月30日    |              |
| 当初設定元本: | 673百万円      |              |
| 基準日:    | 2016年8月31日  |              |
| 基準価額:   | 10,376円     | 対前月比 -13円    |
| 純資産総額:  | 789百万円      | 対前月比 -1.0百万円 |
| 設定来高値:  | 11,146円     |              |
| 設定来安値:  | 8,888円      |              |
| 期間別     | 3ヶ月         | -1.93%       |
| 基準価額騰落率 | 6ヶ月         | -0.74%       |
| 設定来     | ファンド        | 3.76%        |
| 基準価額騰落率 | TOPIX       | 83.75%       |
|         | 日経平均        | 101.00%      |

## 投資対象ファンドへの資産配分 (2016年8月31日現在)



運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

## 投資対象ファンドの基準価額騰落率推移 (諸費用控除後, 税引前)

| 2016     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| プライム     | -0.72% | -0.39% | 1.59%  | 0.73%  | -1.70% | -2.76% | -0.40% | 0.23%  |        |        |        |        | -3.44% |
| ウィズダム    | -0.47% | -2.84% | 1.22%  | 0.50%  | -1.58% | -1.30% | -0.63% | -1.17% |        |        |        |        | -6.15% |
| レゾリューション | 0.02%  | 1.80%  | 4.82%  | -0.39% | 1.60%  | 2.29%  | -1.64% | 1.14%  |        |        |        |        | 9.90%  |
| 2015     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| プライム     | -2.91% | 0.43%  | -0.74% | 1.81%  | 0.84%  | -0.27% | 0.22%  | 0.84%  | 0.48%  | 0.83%  | 0.19%  | 0.15%  | 1.82%  |
| ウィズダム    | -1.38% | -1.99% | -0.24% | 0.27%  | 0.85%  | 1.82%  | 0.96%  | 1.39%  | -0.95% | 0.00%  | 0.92%  | 0.54%  | 2.14%  |
| レゾリューション | -1.92% | -4.43% | -1.60% | 1.93%  | 0.57%  | 2.72%  | -1.63% | 3.38%  | 2.61%  | -1.26% | 1.14%  | 3.19%  | 4.44%  |
| 2014     | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 年初来    |
| プライム     | 2.24%  | -0.37% | 0.41%  | 1.08%  | 0.88%  | 2.08%  | -0.16% | -0.32% | 1.01%  | -0.04% | -0.24% | -1.41% | 5.22%  |
| ウィズダム    | 0.94%  | -0.06% | 0.36%  | 0.81%  | 0.50%  | 1.06%  | -0.30% | 1.17%  | 0.46%  | -0.04% | 0.03%  | 0.33%  | 5.38%  |
| レゾリューション | 6.74%  | -0.06% | 2.94%  | 0.52%  | 1.36%  | 2.63%  | -2.53% | 5.02%  | 1.61%  | -3.52% | -0.75% | 2.09%  | 16.76% |

上記騰落率は投資対象ファンドの費用控除後の騰落率です。エピック・ヘッジファンド・セレクション1(以下「HFS」という)にかかるコスト等が含まれないため、投資対象ファンドの騰落率を資産配分結果で加重平均した場合、HFSの基準価額騰落率とは一致いたしません。



## エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

## 相場動向

8月の株式相場は、日経平均で1.92%上昇の16,887.40円、TOPIXで0.51%上昇の1,329.54ptとなりました。月初は下落しましたが、月末に向けて上昇基調となりました。

上旬は、下落した後に持ち直す展開となりました。債券相場が急落したことや円高が加速したことを受けて16,000円割れとなる場面もあったものの、米雇用統計の内容が予想を大きく上回り投資家心理が回復したため下げを打ち消す動きとなりました。

中旬は、下落しました。1ドル99円台まで円高が進んだことから外需株を中心に売られる展開となりました。

下旬は、こう着状態が続いたものの月末にかけて上昇しました。26日のジャクソンホール会議でのイエレンFRB議長の講演前は様子見姿勢が強い状態が続きました。しかしながら、イエレンFRB議長の講演における9月利上げを意識させる発言を受け米国の早期利上げ観測が台頭、1ドル102円台へ円安が進み外需株や金融株などを中心に買われました。

需給面では、海外投資家が2カ月ぶりに売り越しとなった一方、個人投資家が2カ月ぶりの買い越しとなりました。

セクター別騰落率では、鉄鋼、鋳業、銀行、非鉄金属、輸送用機器が上位となり、水産・農林、医薬品、陸運、食料品が下位となりました。外需株が買われる一方、ディフェンシブ業種、内需業種が

アンダーパフォームしました。

東証一部の売買代金は1日当たり2.03兆円と7月の2.4兆円から減少しました。

新興市場の騰落率は、JASDAQインデックスが1.21%下落、東証マゼース指数は1.79%下落となり、大型株優位の展開となりました。

ファクター面では、低PERや低PBRなどのバリュエーション指標や高ベータなどが好調の一方、モメンタムファクターやROEのマイナスが目立つという前月のトレンドをそのまま引き継ぎ形となりました。

## 組入ファンドの運用状況と今後の市況見通し及び投資戦略

## 【ブラウイス】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

8月の運用成績はJPYクラスで+0.23%となりました。株式市場が外需銘柄中心に反発する中でバリュエーション面で割高な内需銘柄のショートポジションがプラスに寄与したことや、REITでの割高・割安の修正があったことからプラスのパフォーマンスとなりました。

セクター別の損益では、電力・ガス、食品、REIT、化学でプラスとなり、電機、医薬品、小売りセクターでマイナスとなりました。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

9月の株式市場はもみ合いの相場展開を想定します。過去2カ月のリバーサル相場で売り込まれていた輸出関連や銀行株が反発したことで、バリュエーション面での割安感は後退し上値余地は限定的と考えます。日米の金融政策次第では相場変動が大きくなるのが予想されますが、下落局面では日銀のETF買いもあり、相場を下支えすると思われます。

今後の運用方針は、個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。

## 【ウイズダム】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

8月の運用成績はJPY-Fクラスで-1.17%でした。今月はモメンタム（過去の相対リターンが高い）かつ高ROE銘柄が大幅に下落する影響を受け、食品、家庭用品セクター内の銘柄選択がマイナス寄与となりました。加えて、JPX400指数リバランスの保有ポジションも需給要因によりマイナスとなりました。

個別銘柄レベルでは、ロングポジションで東洋タイヤ（5105）、ミネベア（6479）、ショートポジションでPCデポ（7618）、カゴメ（2811）がプラス収益に寄与しました。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

9月の株式市場は底堅い推移を予想します。要因としては、1) 先月のイエレンFRB議長講演で米国内利上げ観測が台頭し為替が円安に反転したこと、2) 下値では日銀によるETF買いが期待されること、が挙げられます。月後半は日銀の金融政策決定会合の相場の展開を予想します。

今後の投資戦略につきましては、クオンツモデルとトップアナリストによる投資評価の双方を活用し、銘柄選択により安定した収益を目指します。

## 【レゾリューション】

## &lt;ファンド運用状況&gt;

8月の株式市場は、先月に続き一方的なバリュエーション優位、大型優位となり、ファンドにとっては厳しい展開となりました。

ファクターで見ると、ローリスクに加え、株価モメンタム、グロース、クオリティ、利益モメンタムの全てが弱く、特に小型株で見ると、大型のローリスクに匹敵していた、内需グロースの弱さが目立ちました。

これまでの業績信頼度が高く、かつバリュエーションが高めの小型株ロングがマイナス寄与となり、小型株の反発が限定的なため、ロング銘柄の指数（TOPIX）に対する割り負けが目立ちました。

一方、半導体製造装置など個別事業に着目してウェイトを引き上げていた製造業ロングが全体としてプラス寄与となり、厳しい環境ながらもファンドとしてプラスパフォーマンスの確保に至りました。

## &lt;今後の市況見通し及び投資戦略&gt;

金利上昇のトレンドに変化が見られない限り、9月も7～8月同様の厳しい運用環境が見込まれます。

一方で、足元の急速な大型株優位の進展により、本年の相対的な小型株優位は一気に解消されており、一部小型株においては、成長性に着目したときの割安性が上昇しております。

季節的な売買高減少を通過し、より来期以降の業績に着目した局面において、新たな投資チャンスが生まれ易くなっていると考えます。

個別性のある小型株のロング部分で引き続きパフォーマンス確保を狙います。

業績モメンタムの変化に留意し、業績拡大可能な割安銘柄の組入れと、競争力など中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

## 投資信託の主な関係法人

|                   |  |
|-------------------|--|
| 管理会社:             | インターナショナル・マネジメント・サービス・リミテッド  |
| 信託会社:             | G.A.S. (ケイマン)リミテッド   |
| 管理事務代行会社:         | エスエムティー・ファンド・サービス(アイルランド)リミテッド   |
| 保管銀行:             | スミトモ・ミツイ・トラスト(ユークイ)リミテッド   |
| 投資運用会社:           | エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第432号<br>加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会  |
| 代行協会員・日本における販売会社: | ヘッジファンド証券株式会社 <a href="http://hedgefund-sec.com/">http://hedgefund-sec.com/</a><br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2580号<br>加入協会:日本証券業協会 |



# エピック・ヘッジファンド・セレクション1 月次運用レポート

金融商品取引法に基づく表示

## 商号等

エピック・パートナーズ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第432号

## 当社が加入する協会等について

一般社団法人 日本投資顧問業協会 加入 第011-01395号

## ご留意事項

当資料は投資信託の運用状況をお知らせするためにエピック・パートナーズ・インベストメンツが作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。

当資料は特定の有価証券等の取得の申込み、投資顧問契約、投資一任契約の勧誘等を目的としたものではありません。

当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

投資信託は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

運用管理費用、監査費用、その他の諸経費が、投資信託の保有期間に応じてかかりますが、事前にその上限を示すことができません。また、有価証券の売買等に係る手数料、租税等が発生しますが、運用の状況により変動しますので事前にその上限を示すことができません。

**当資料は、投資運用会社であるエピック・パートナーズ・インベストメンツが投資信託の運用状況をお知らせするために作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。**

**投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、その内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客様ご自身が投資に関してご判断ください。**